

2014年5月28日

2013年度 決算概要と 2014年度業績見通し

第152期 【2013年4月1日～2014年3月31日】
株式会社 A D E K A 代表取締役社長 郡 昭夫

1. 2013年度 連結業績
2. 中期経営計画「STEP 3000」進捗状況
3. 2014年度 業績予想
4. 事業施策

2013年度 連結業績

2013年度 連結業績の概要



連結

(単位：億円)

	2012年度	2013年度	増減	増減率 (%)
売上高	1,848	2,043	194	10.5
営業利益	98	138	39	40.1
経常利益	113	159	46	40.9
当期純利益	76	91	15	20.2

1株当たり 純利益 (円/株)	73.7円	88.6円
配当金 (円/株)	22円	22円

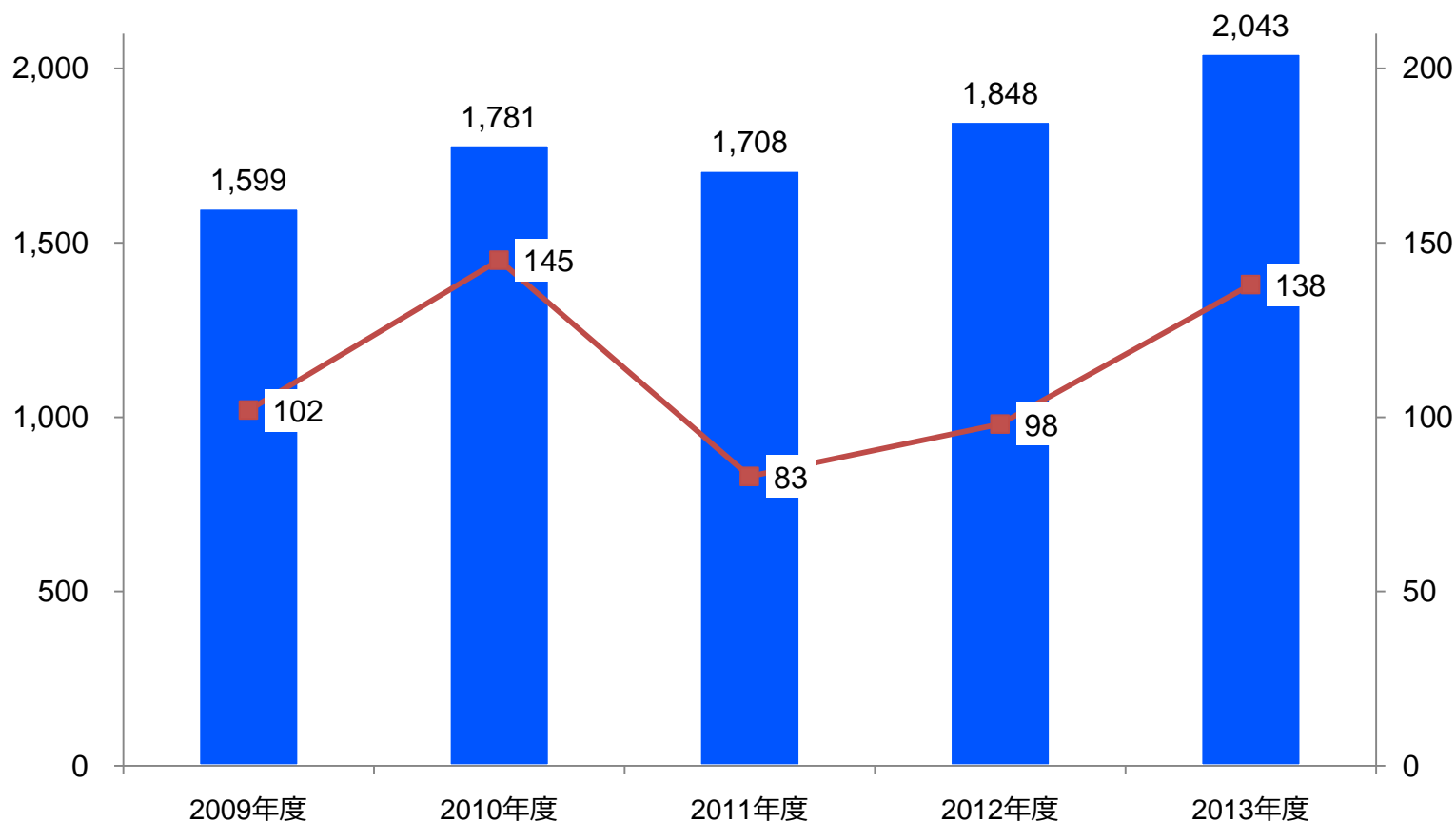
- 自動車や化粧品向けなどが海外を中心に販売が好調に推移した化学品、前年度に続き好調を継続した食品がともに増収増益となり、売上高は過去最高を達成した。
- 中期経営計画「STEP 3000」の2年目となる今年度は、事業領域の拡大・強化を図るべく、ブラジル現地法人や台湾現地法人台北事務所の業務開始、中国でのプラスチック用酸化防止剤及び、アラブ首長国連邦でのポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の設備の増強、マレーシアでは加工油脂工場建設を推進するなど、将来の成長に向けた海外投資を戦略的に推し進めた。

連結

売上高 営業利益

売上高：億円

営業利益：億円



2013年度 連結業績（セグメント別数値）



連結

（単位：億円）

	2012年度	2013年度	増減	増減率（%）
売上高	1,848	2,043	194	10.5
化学品	1,259	1,435	176	14.0
情報・電子	200	206	6	3.0
機能化学品	886	1,047	161	18.2
基礎化学品	171	180	8	5.1
食 品	535	553	18	3.4
その他	53	54	0	1.1
営業利益	98	138	39	40.1
化学品	73	108	34	46.8
情報・電子	27	36	9	33.0
機能化学品	49	78	29	60.1
基礎化学品	△ 3	△ 7	△ 4	-
食 品	19	23	4	24.2
その他	5	5	0	7.3

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

[連結](#)

情報・電子 (増収・増益)

1. 半導体材料は、スマートフォンなどモバイル端末の需要拡大に伴い、半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に期を通じて堅調に推移した。
2. プリント基板用のエッチング薬剤は、国内需要の減少などにより低調であった。
3. 光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は、海外を中心に競争力の高い独自製品が伸長した。

(単位：億円)

	2012年度	2013年度	増減
売上高	200	206	6
営業利益	27	36	9

[連結](#)

機能化学品 (増収・増益)

1. 樹脂添加剤は、国内及び北米をはじめとした自動車生産の回復に伴い、造核剤や光安定剤など高機能添加剤を中心に好調に推移したほか、難燃剤が家電製品向けなどに伸長した。
2. 界面活性剤は、国内外において香粧品向け材料と塗料用添加剤が伸長した。
3. 潤滑油添加剤は、自動車のエンジンオイル用添加剤の省燃費性が評価され、海外を中心に大きく伸長した。
4. 機能性樹脂は、水系ウレタンが堅調であったが、国内需要の低迷により総じて低調であった。

(単位：億円)

	2012年度	2013年度	増減
売上高	886	1,047	161
営業利益	49	78	29

[連結](#)

基礎化学品 (増収・営業損失)

1. プロピレングリコール類や過酸化水素及びその誘導品などは、原材料及び燃料の大幅な価格上昇を受けて価格改定とコスト削減を実施したが、需要低迷の影響を受け、営業損失となった。
2. 過酸化製品事業では、固定資産の減損損失を計上した。

(単位：億円)

	2012年度	2013年度	増減
売上高	171	180	8
営業利益	△ 3	△ 7	△ 4

連結
食品（増収・増益）

1. 円安による原材料価格の上昇と、安心・安全へのこだわりなど厳しい事業環境のなか、継続的なコスト削減に加え、製パン・製菓や洋菓子向けの高機能マーガリン類（アロマーデシリーズ、オリンピックシリーズ）や、口溶け良好なホイップクリームなどの増販に努めた。

（単位：億円）

	2012年度	2013年度	増減
売上高	535	553	18
営業利益	19	23	4

中期経営計画「STEP 3000」 進捗状況

【中期経営計画名】 S T E P 3 0 0 0

【スローガン】 3,000億円への飛躍 ～領域拡大・事業強化～

【5つの基本方針】 海外、技術、価値創造、投資、人財

[位置づけ]

- 2016年度（創立100周年）までに『売上高3,000億円のグッドカンパニー』になるための確たる手段を打つ期間
- 成長戦略である「新製品の創出」と「海外事業の拡大」を推進

[数値目標]（2014年度）

- 売上高 2,400億円
- 営業利益 170億円
- 海外売上高 960億円（海外売上高比率40%）

数値目標に対する進捗



(単位：億円)

	2012年度 (実績値)	2013年度 (実績値)	2014年度 (予想値)	2014年度 (中計値)
連結売上高	1,848	2,043	2,200	2,400
連結営業利益	98	138	142	170
営業利益率	5.3%	6.8%	6.5%	7%

海外売上高	636	820	900	960
海外売上高比率	34.4%	40.2%	40.9%	40%

- 浦和開発研究所 新研究棟竣工(2013年1月)
 - 世界展開する樹脂添加剤事業のグローバルテクニカルセンターとしての機能を充実させた。

- 韓国 R & D センターの拡充(2013年4月)
 - 最先端半導体評価設備の設置と人員増強により、迅速に研究開発できる体制を構築した。

- メディカル材料用実験棟を新設(2014年6月予定)
 - 鹿島工場西製造所に G M P 基準*に準拠した実験棟を新設。メディカル材料の安全性試験や臨床試験用サンプルの提供が可能な設備の導入により、『ライフサイエンス分野』の新製品開発を加速する。

* G M P 基準 Good Manufacturing Practiceの略。日本、米国、E Uでそれぞれ定められた医薬品等の品質管理基準。

【エネルギー分野】

➤ 有機系太陽電池用材料

- 当社の有機系太陽電池向け材料である増感色素は、高い光吸収効率と酸化チタン電極への吸着性に加えて、コバルト錯体との相性が良く、通常より2~3割高い電圧と世界トップレベルのエネルギー変換効率（12.5%）を確認した。屋内向け等に用途拡大が期待できる。鮮やかな10種類のカラーバリエーションで色素を販売していく。



▲多彩なカラーバリエーションの色素

【ライフサイエンス分野】

➤ 発酵ベータグルカン

- 化粧品分野、メディカル分野などに用途拡大を進めている黒酵母由来の発酵ベータグルカンに、カンジダ菌、黄色ブドウ状球菌(MRSA)に対する感染予防効果があることを見出した*。今後、医療機関や介護事業者等へのアプローチを図り、病院食や介護補助食品等への展開を検討していく。

* 本研究成果は、一般社団法人・医真菌学会において2013年度優秀論文賞を受賞。

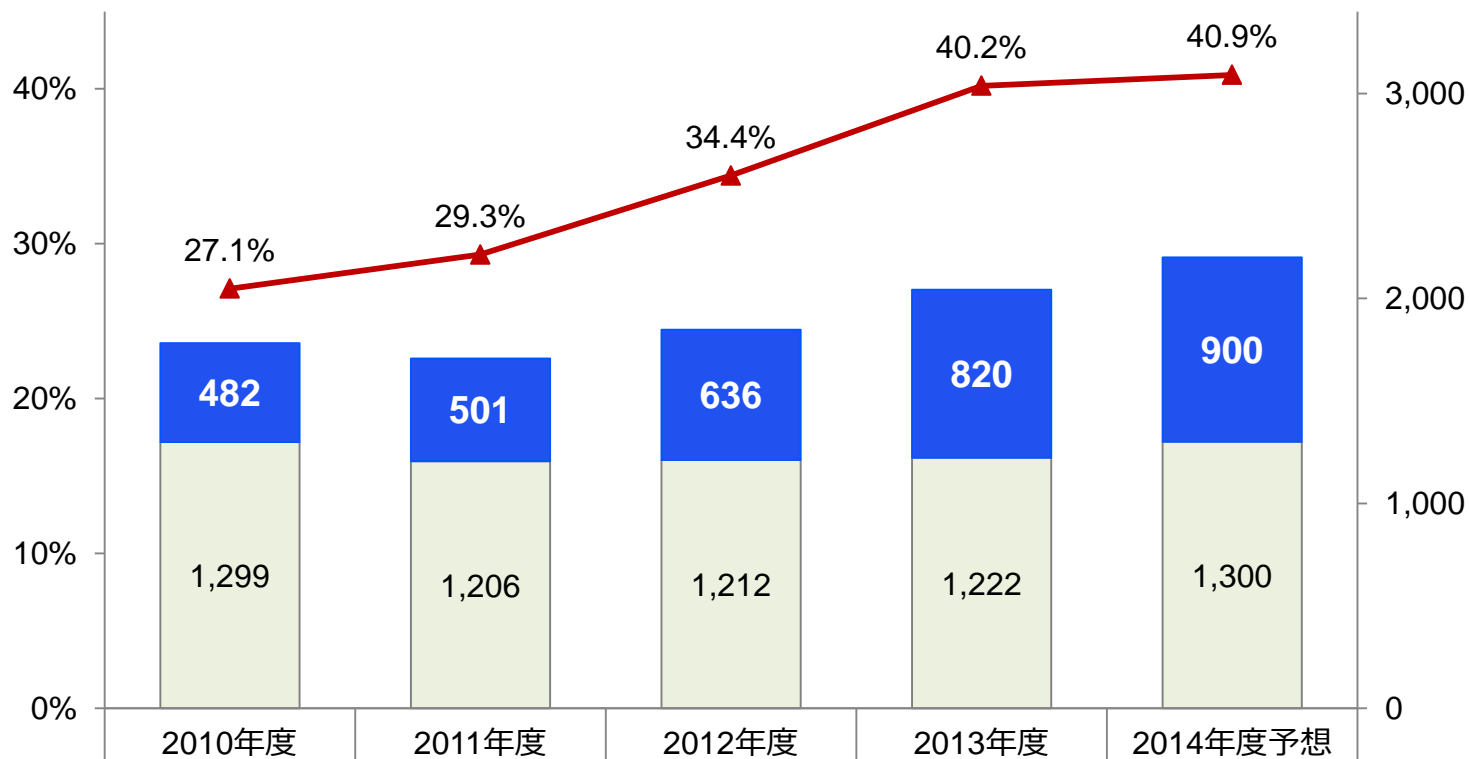
➤ 大麦ベータグルカン

- 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会による食品の機能性評価事業では、大麦ベータグルカンが「血糖値の上昇抑制」、「血中コレステロールの正常化」、「満腹感の持続作用」の3項目で高評価を得た。



- AM STABILIZERS 【米国】
 - 2012年5月 設立（樹脂添加剤の製造・販売）
- ADEKA KOREA 【韓国】
 - 2012年10月 半導体向け材料生産体制強化
- ADEKA FOODS (ASIA) 【マレーシア】
 - 2012年11月 設立（マーガリン、ショートニングなどの製造・販売）
工場建設に着手し、2014年7月に完成予定
- ADEKA BRASIL 【ブラジル】
 - 2013年4月 営業開始（樹脂添加剤、潤滑油添加剤、情報・電子関連製品など
ADEKAグループ製品 の販売支援及び市場開拓）
- 艾迪科精細化工（常熟） 【中国】
 - 2013年6月 高機能酸化防止剤プラント完成
- 台湾艾迪科精密化学 【台湾】
 - 2013年10月 台北事務所開設（ADEKAグループ製品の販売）
- ADEKA AL GHURAIR ADDITIVES 【UAE】
 - 2014年6月(予定) ポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の生産設備増強

(単位：億円)



■ 海外売上高	482	501	636	820	900
■ 国内売上高	1,299	1,206	1,212	1,222	1,300
▲ 海外売上高比率	27.1%	29.3%	34.4%	40.2%	40.9%
売上高	1,781	1,708	1,848	2,043	2,200

世界へ翔く
成長戦略
実現させよう
STEP 3000

2014年度 業績予想

2014年度 業績予想及び環境要因



連結

(単位：億円)

	2014年度予想		対前年度 増減	増減率 (%)
	上期			
売上高	1,050	2,200	156	7.7
営業利益	63	142	3	2.8
経常利益	62	150	△9	△6.0
当期純利益	40	100	8	9.3

1株当たり純利益 (円/株)	38.7円	96.8円
配当金 (円 / 株)	12円	24円

- 営業利益：原材料価格のコストアップなどによる食品事業での利益減少を、化学品事業でカバーし増益となる見通し。
- 経常利益：為替差益が見込めず減益となる見通し。
- 当期純利益：13年度に計上した減損損失がなく特別損益が改善し増益となる見通し。

		2014年度前提	
為替	円/\$		103.00
	円/€		138.00
ナフサ	円/KL		72,000

2014年度 業績予想（セグメント別）



連結

(単位：億円)

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	2014年度予想 (a+b)	対前年度 増減	増減率 (%)
売上高	1,050	1,150	2,200	156	7.7
化学品	745	835	1,580	144	10.1
情報・電子	100	120	220	13	6.4
機能化学品	560	610	1,170	122	11.7
基礎化学品	85	105	190	9	5.2
食品	280	290	570	16	2.9
その他	25	25	50	△ 4	△ 8.3
営業利益	63	79	142	3	2.8
化学品	55	67	122	13	12.7
情報・電子	17	23	40	3	8.6
機能化学品	38	43	81	2	2.7
基礎化学品	0	1	1	8	-
食品	5	9	14	△ 9	△ 41.6
その他	3	3	6	0	1.7

事業施策

情報・電子

- 半導体材料は、DRAM向け高誘電材料の高シェアを堅持するとともに、次世代材料の投入に向け生産体制を強化。NAND型フラッシュメモリやロジック半導体向けの材料開発・拡販にも注力し、業容拡大を推進する。
- 情報化学品では、光学フィルムやフォトレジストに使用される高機能感光性材料を中心として、ディスプレイや半導体向けに拡販を図る。

機能化学品

- 樹脂添加剤は、欧・米・中で拡販するイントメッセント系難燃剤や、アジア地域での酸化防止剤の拡大を目指す。自動車関連市場向け高機能製品の光安定剤、塩化ビニル用の安定剤の拡販にも注力する。
- エンジンオイル用潤滑油添加剤、反応性乳化剤及び香粧品向け素材などは海外展開を強化し、拡販に注力する。

基礎化学品

- 過酸化製品やプロピレングリコール類は、利幅管理を徹底して収益改善を図る。
- 過酸化水素誘導品の拡販を図る。

食品

- 製パン・製菓・洋菓子市場でのシェア拡大により国内基盤を強化していくとともに、新規機能素材などの拡販により事業領域の拡大を図る。一方、品種統合やコストダウンを推進する。
- 中国、シンガポール、マレーシア子会社との連携を図り、アジアでのローカル販売を拡大する。

2013年度 決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
 - 単独・連結子会社の決算概要
 - A D E K Aグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
 - 事業区分別主力製品

取締役執行役員 富安治彦

I-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (2013.3.31現在)	当期 (2014.3.31現在)	前期末比 増減
資産の部			
流動資産 ①	116,293	126,604	10,311
固定資産	106,311	116,137	9,826
有形固定資産 ②	71,983	73,826	1,842
無形固定資産	3,471	3,649	178
投資その他の資産 ③	30,856	38,661	7,804
資産合計	222,604	242,741	20,137
負債の部			
流動負債 ④	55,099	62,407	7,308
固定負債 ⑤	30,277	32,535	2,258
負債合計	85,376	94,943	9,567
純資産の部			
株主資本	128,260	135,038	6,777
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	85,660	92,438	6,778
自己株式	△ 224	△ 225	△ 0
その他の包括利益累計額	4,819	7,431	2,611
その他有価証券評価差額金	1,868	3,050	1,181
土地再評価差額金	3,697	3,794	97
為替換算調整勘定	△ 746	2,441	3,187
退職給付に関する調整額	-	△ 1,854	△ 1,854
少数株主持分	4,147	5,328	1,180
純資産合計	137,227	147,798	10,570
負債及び純資産合計	222,604	242,741	20,137

POINT①

流動資産の増加

現金及び預金の増加 9,181百万円

POINT②

有形固定資産の増加

建物及び構築物の増加 1,202百万円

POINT③

投資その他の資産の増加

投資有価証券の増加 5,131百万円

繰延税金資産の増加 1,776百万円

POINT④

流動負債の増加

短期借入金の増加 2,739百万円

1年内返済予定の長期借入金
の増加 2,173百万円

POINT⑤

固定負債の増加

長期借入金の減少 △1,185百万円

退職給付に係る負債の増加 3,387百万円

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 146,893百万円

I-2. キャッシュフロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

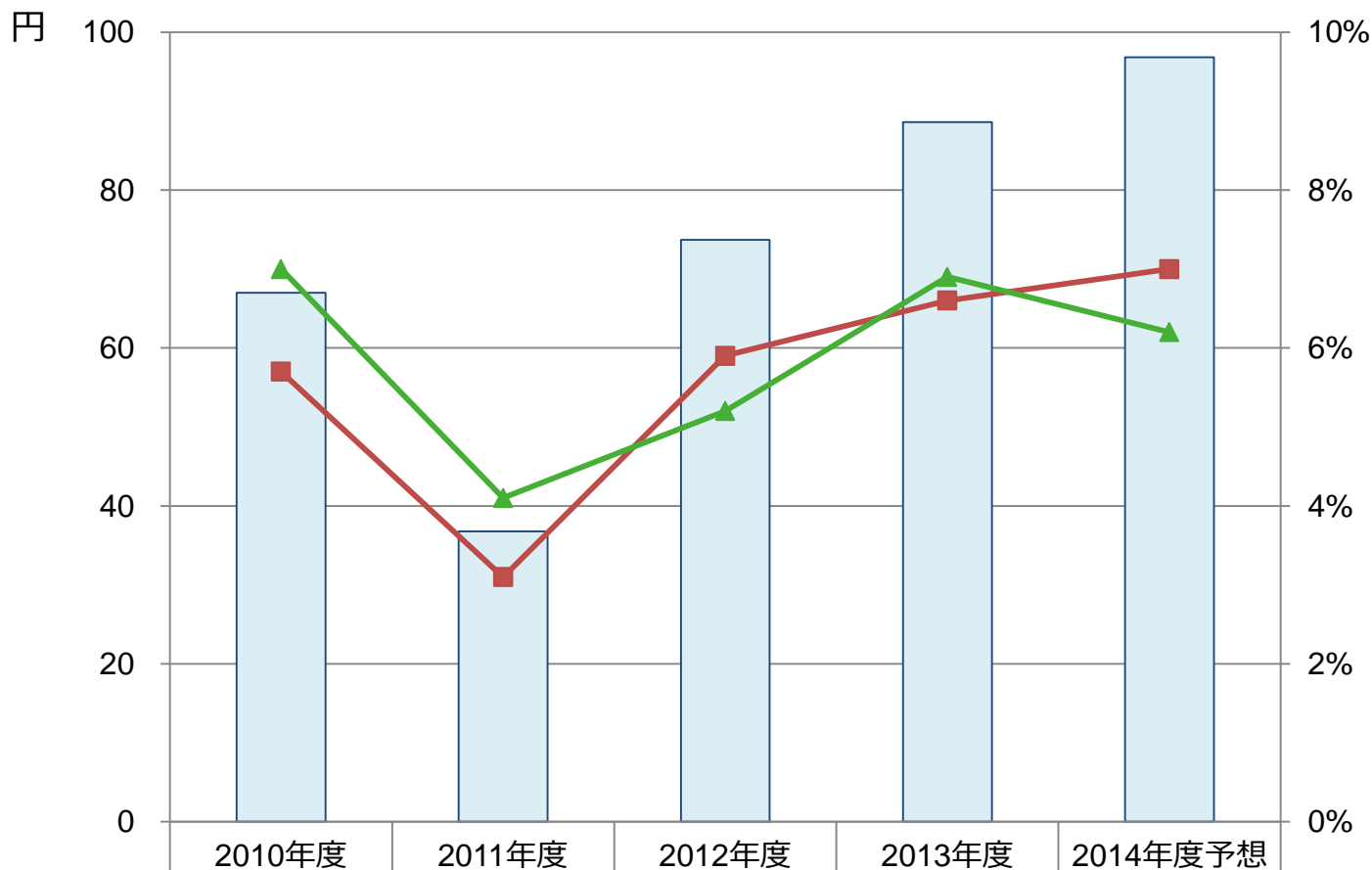
	前連結会計年度 (自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)	当連結会計年度 (自 2013年4月1日 至 2014年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	14,445	19,696
投資活動によるキャッシュ・フロー ②	△11,903	△10,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	173	△1,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	739	1,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,455	9,459
現金及び現金同等物の期首残高	25,755	29,210
現金及び現金同等物の期末残高	29,210	38,670

POINT① 営業活動による資金の収入増は、仕入債務の減少による支出を上回る税金等調整前当期純利益の増加が主因である。

POINT② 投資活動による資金の支出減は、有価証券の取得による支出を上回る有価証券の売却及び償還による収入増加が主因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

連結

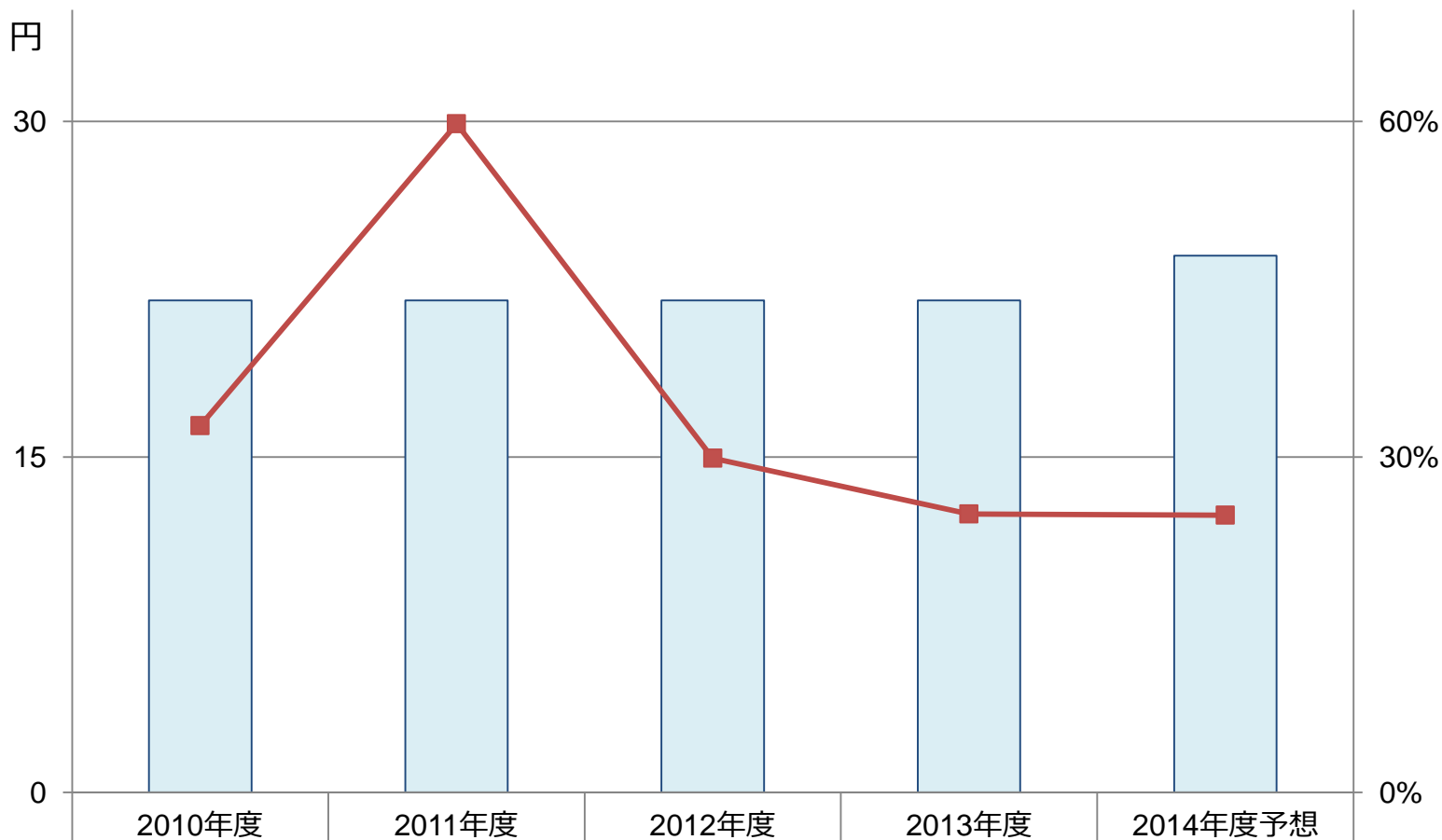


■ EPS (1株当り当期純利益)	67.0 円	36.8 円	73.7 円	88.6 円	96.8 円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	5.7%	3.1%	5.9%	6.6%	7.0%
▲ ROA (総資産経常利益率)	7.0%	4.1%	5.2%	6.9%	6.2%

Ⅱ-2. 配当金、配当性向



連結

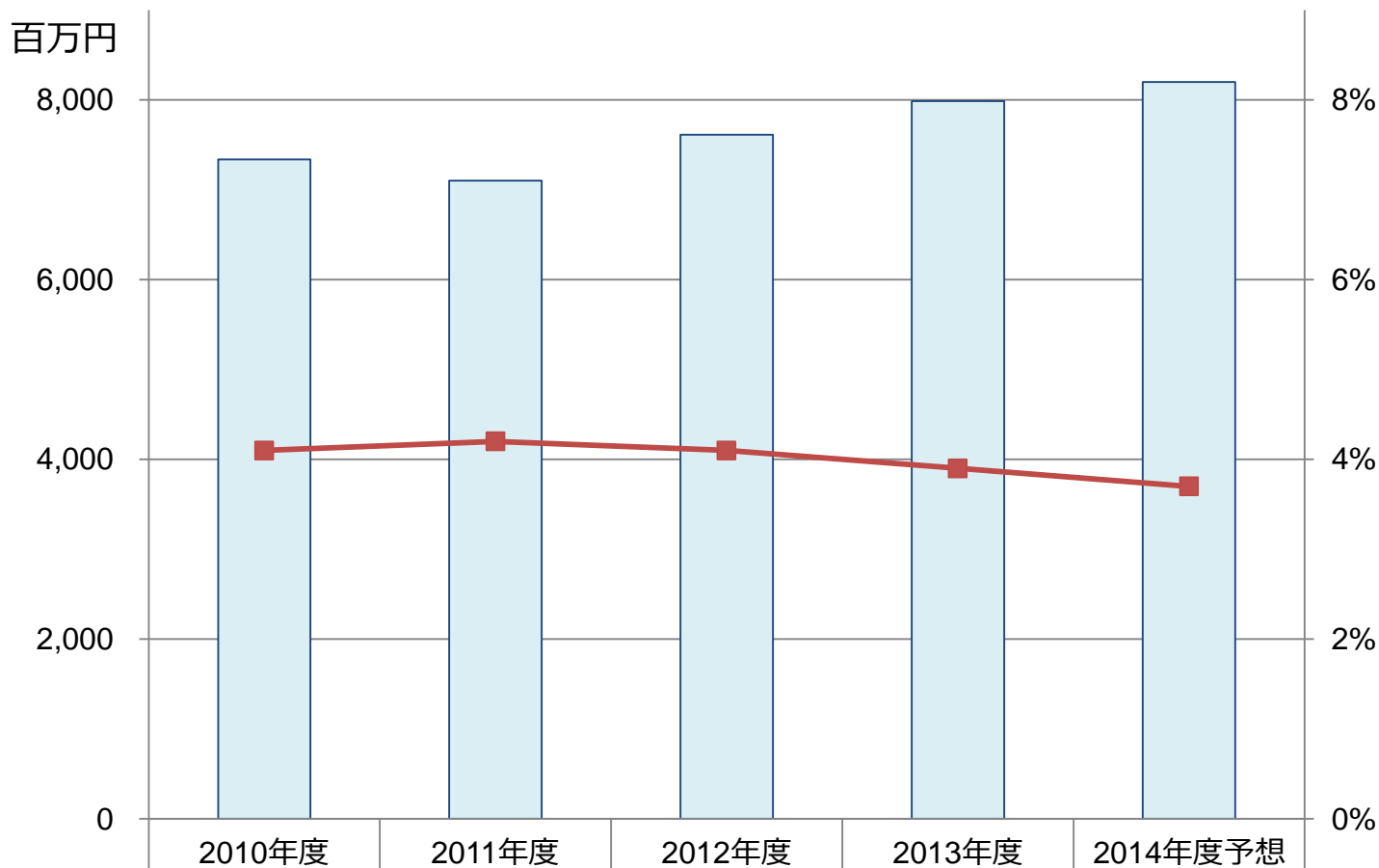


配当金	22 円	22 円	22 円	22 円	24 円
配当性向	32.8%	59.8%	29.9%	24.9%	24.8%

Ⅱ-3. 研究開発費



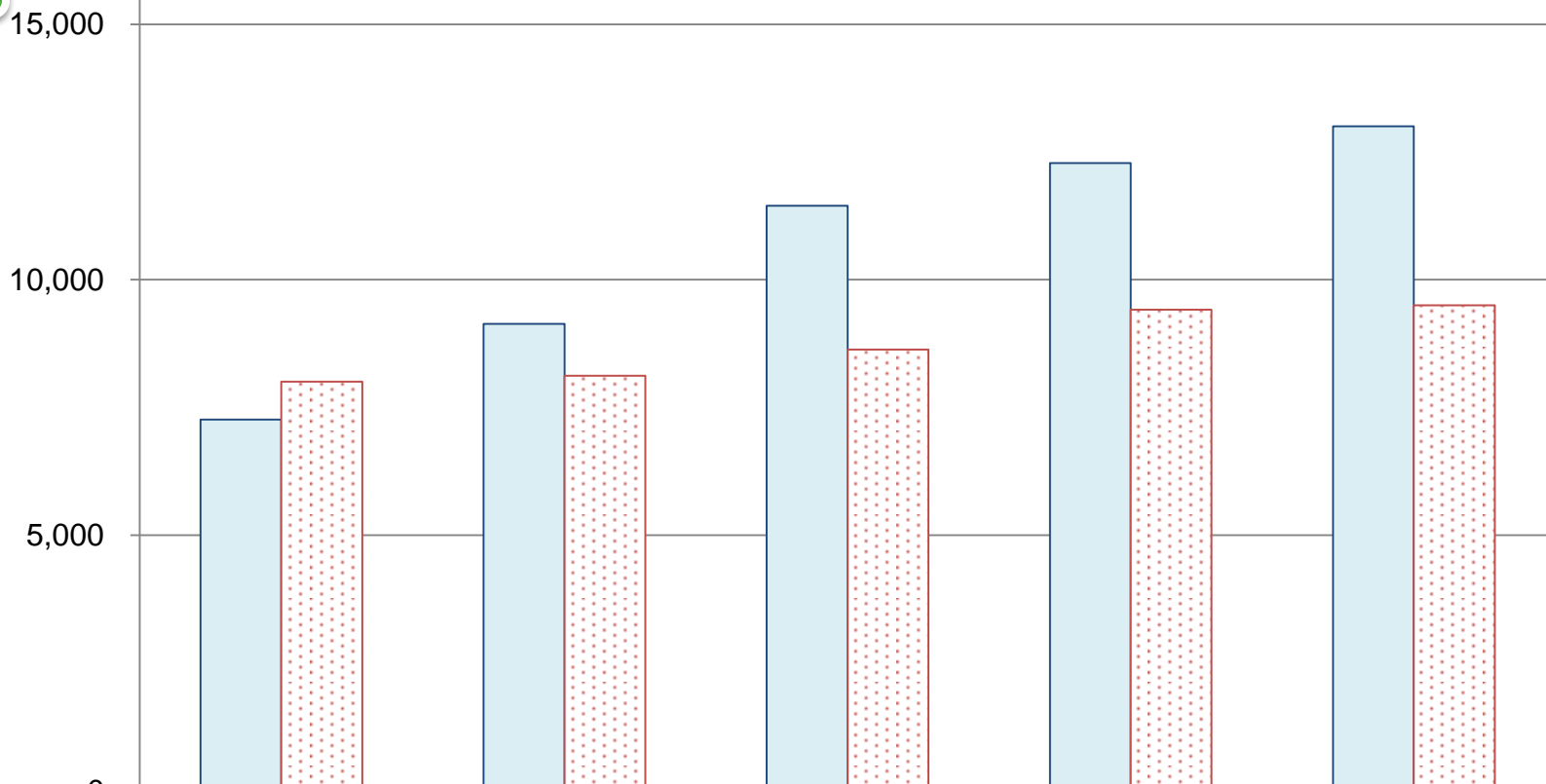
連結



研究開発費	7,339	7,101	7,614	7,988	8,200
売上高研究開発費比率	4.1%	4.2%	4.1%	3.9%	3.7%

連結

百万円

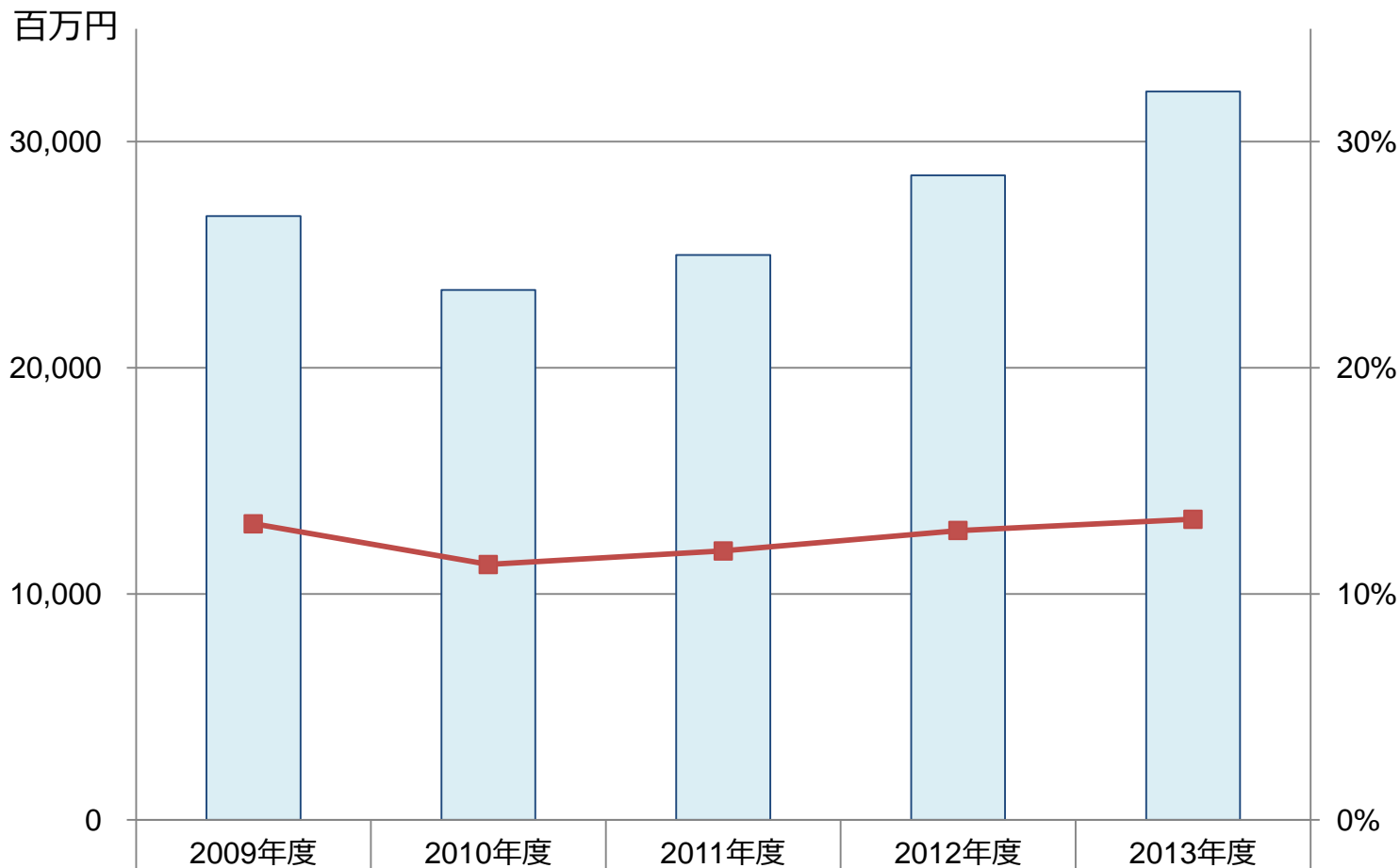


	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度予想
設備投資	7,266	9,134	11,448	12,282	13,000
減価償却費	8,008	8,122	8,638	9,418	9,500

Ⅱ-5. 有利子負債



連結



有利子負債	26,707	23,446	24,992	28,513	32,222
有利子負債依存度	13.1%	11.3%	11.9%	12.8%	13.3%

Ⅲ-1. 単独・連結子会社の決算概要



(単位：億円)

単独決算				
	2012年度	2013年度	増減	増減率(%)
売上高	1,133	1,171	37	3.3
営業利益	61	77	16	26.1
経常利益	74	93	19	25.9
純利益	47	45	△1	△3.2
1株当たり純利益	45.9	44.4		

国内（10社）				
	2012年度	2013年度	増減	増減率(%)
売上高	693	717	23	3.4
営業利益	10	13	3	33.7

海外（14社）				
	2012年度	2013年度	増減	増減率(%)
売上高	789	1,017	228	29.0
営業利益	30	51	20	68.2

連結調整（消去他）		
	2012年度	2013年度
売上高	△767	△862
営業利益	△3	△4

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-2. 2013年度 連結子会社 (国内10社)



セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	50.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	90.69	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKAライフクリエイイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

Ⅲ-3. 2013年度 連結子会社 (海外14社)



セグメント	国名	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	米国	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	台湾	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
化学品	韓国	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
化学品	シンガポール	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
化学品	ドイツ	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
化学品	フランス	ADEKA PALMAROLE SAS	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	台湾	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	ADEKAグループ製品の販売
化学品	中国	艾迪科(上海)貿易有限公司	100万USドル	100.00	化学製品の販売
化学品	中国	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造・販売
化学品	中国	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
化学品	タイ	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
化学品	米国	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
食品	シンガポール	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造・販売
食品	中国	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造・販売

Ⅲ-4. 持分法適用会社



持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.17%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売

※ 持分法適用会社の増減はなし。

Ⅲ-5. 事業区分別主力製品



事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光記録材料、画像材料、その他
		機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、香粧品材料、その他
		基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。